

しぜんはくぶつえん
自然博物館 通信

No.015

国営滝野すずらん丘陵公園 滝野管理センター発行

今月のトピック：シラネアオイと森づくり

平成が終わり5月1日から「令和」が始まりました。日本人にとって元号が変わるというのは気持ちも新たになりますが、植物や生きものたちはその日、その年を生き抜くのに精いっぱいなのでしょうね。この時期は日に日に芽出しが始まり、気が付けば花が咲いているのでなかなか気が抜けません。自然博物館が開園して今年で10年目になりますが、毎年花の開花状況は違います。それは、天気や雪の量、雨などによる浸食や土の流出など様々な自然現象によるものが大きいのですが、この森では毎年人の手で笹刈りをしたりフキを抜く「森づくり」を行っています。笹があるとその下に太陽の光が当たらなくなって、芽を出せなかったり発芽した芽が育たなかったりします。そこで、森クラブボランティアの方たちと一緒に作業を行うことで植物たちの成長をお手伝いしています。シラネアオイをはじめとする森の野草たちは芽を出しても花が咲くまで何年もかかります。活動の成果が出るのは作業をしてから数年後。開園以来続けてきた成果が最近じわじわと出始めています。滝野の森ではその日限定の作業ボランティアの募集も行っていますのでぜひ一緒にこの森を魅力的にしていきませんか？（初回は6月1日です）



5/11～19 シラネアオイと春の野の花まつり開催！！

シラネアオイの開花時期に合わせて開催している「シラネアオイと春の野の花まつり」。毎年続けているので、毎年楽しみにしてくれている方もいて開催前に来た方と「今年はどうかな？」なんて会話も生まれるようになりました。「シラネアオイまつり」から「シラネアオイと春の野の花まつり」に変わり今年で3年目。横着してスタッフも「シラネアオイまつり」って言うてしまうこともあります。主役は「シラネアオイ」だけじゃなく「シラネアオイと春の野の花」です。ぜひシラネアオイだけでなく足元に咲く小さな花たちにも注目してください。また今年は5/12～19で森クラブボランティアによる特別展示「滝野で出会った植物たち」も開催。開園以降作ってきた標本などを使って似てる植物たちの紹介を行います！

今月の森の様子

◆今月見られる野草

シラネアオイ、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウ、ヒトリシズカ、フデリンドウ、ヒメイチゲ、タチツボスミレ、ズダヤクシュ、レンプクソウ、ルイヨウボタン、ルイヨウショウマ、マムシグサ、ネコノメソウ、オオアマドコロ、ノビネチドリ、コミヤマカタバミ、ニシキゴロモ、コンロンソウなど。

◆今月見られるいきものたち

エゾアカガエル（卵、幼生）、エゾサンショウウオ（卵、幼生）、カナヘビ、クジャクチョウなど。

◆今月見られる鳥たち

オオルリ、コルリ、キビタキ、ウグイス、シジュウカラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、コゲラ、クマゲラなど

ヒトリシズカ



ルイヨウボタン



ルリビタキ



【今月のオススメプログラム】

◆5/11（土） 札幌市立大学矢部教授と歩く「シラネアオイ観察会」

10:00～12:00 参加費：無料 定員：15名 昼食持参

◆5/18（土） スペシャルガイドツアー「シラネアオイと春の野の花満喫ツアー」

ボランティアガイドが森の野の花をたっぷりご案内します！昼食はヤエザクラを見ながら食べましょう！

10:00～14:30 参加費：無料 定員：20名 昼食持参

【お申込み】滝野管理センター:011-594-2222

滝野の森の情報については「滝野の森メールマガジン」や「滝野の森 staff twitter」でも更新中です。

★滝野の森メールマガジン：「滝野の森メールマガジン」で検索。

★滝野の森 staff twitter：https://twitter.com/takinomori

滝野の森ゾーン西エリア 自然^{しぜんはくぶつえん}博物館 とは・・・

国営滝野すずらん丘陵公園の中にあるエリアの1つ。2010年OPEN。テーマは「北国の人と自然の共生」
開拓や入植の歴史を持つ場所にできた森で、シラネアオイを始めとした400種以上の山野草や樹木、野鳥、昆虫などを観察できるほか、田んぼを使った体験プログラムや沢あそびなどもでき、自然をより身近に感じることができるエリア。拠点は森の情報館。最寄りの駐車場は「滝野の森口」

【利用案内】

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 TEL：011-592-3333 グリーンシーズン開園期間：4/20～11/10

滝野公園 HP：http://www.takinopark.com/